

トルコ為替週報

2023年10月31日 | みずほ銀行欧州資金部

＜過去1週間の動き＞

(10月24日～10月30日)

USD/TRY: 28.0660～28.3791

TRY/JPY: 5.26～5.35 (参照値)

過去1週間のトルコリラは終値ベースではじりじり対ドルで続落している。中東情勢は、イスラエルとイスラム武装組織ハマスとの軍事衝突がエスカレートして中東の他地域にも広がるのではないかと懸念が強まっている。リスク回避のドル買いや、エネルギー価格高騰に伴うトルコの経常収支の悪化リスクが懸念される。さらには、米10年国債利回りが10月23日に一時、節目となる5.0%を超えて上昇したことも、民間部門を中心に多額の外貨建てを抱えるトルコにとって、リスク要因となる。

トルコ中央銀行(TCMB)は26日、政策金利である1週間物レポレートを30.00%から35.00%に引き上げた。声明文に大きな変化はなかったが、足元のインフレ動向に対する分析はアップデートされている。とりわけ、「国内需要の強さ、とりわけサービスインフレの下方硬直性、さらにはインフレ期待の悪化がインフレの押し上げ要因となっている。」「地政学的な緊張の高まりによる原油価格の上昇は、インフレ見通しに上方リスクをもたらしている。」という指摘は重要であろう。声明文では利上げペースの減速や、停止を示す文言は見られず、政策金利は年末にかけて少なくとも40%台には引き上げられると見られる。

利上げ後のトルコリラの反応は鈍く、ほぼ横ばいとなった。市場予想通りだったこともあるだろうが、実質政策金利が依然としてマイナスであることに加え、中東情勢の緊迫化と原油価格の上昇、米長期金利の高止まりなど、外部環境が逆風となっていることも影響しているだろう。

翌27日にTCMBはマクロプルーデンス政策の簡素化を発表している。金融機関に対してリラ建て融資の30%に相当する有価証券の投資を義務づける規制を撤廃する方針を示したほか、金融機関が不動産部門から購入する証券の30%に相当する証券維持比率も廃止する。こうした証券維持規制は、金融機関に半ば強制的に国債を保有させることで利回りを抑制する効果を狙ったものと位置付けられるが、金融機関のバランスシートが金利上昇に対し脆弱となるリスクや、実体経済への円滑な資金供給が妨げられるリスクが意識されていた。一段とオーソドックスな政策の方向性を志向する政策修正だと言えよう。

＜過去1週間に発表された主要経済指標等＞

月日	GMT	指標	期間	予想*	実績	前回
10/25	08:00	設備稼働率	10月		77.4%	77.3%
10/26	12:00	政策金利発表		35%	35%	30%

(*予想はブルームバーグ社予想中心値)

＜向こう1週間の見通し＞

(10月31日～11月6日)

USD/TRY: 25.00～29.00

TRY/JPY: 5.00～6.00

今後1週間のトルコ・リラ相場は続落する公算が大きい。中東情勢の緊迫化や、米長期金利の動向への警戒が続くだろう。また、トルコの経常収支は夏場の観光シーズンに改善した後、秋から冬にかけては観光収入の低迷を主因として悪化する傾向がある。こうした季節性も、当面のリラ相場にとって重石となる公算が大きい。一方、上述のトルコ中銀の金融政策についても、市場で見方が分かれている点には注意が必要であろう。筆者は、インフレを抑制し通貨安圧力を抑えるには少なくとも40%台への政策金利への引き上げは必要という見方だが、35%で当面は利上げ終了、という見方もある模様だ。11月2日に控えるトルコ中銀の四半期インフレーションレポートの公表と、その後の記者会見は要注目のイベントであろう。

＜向こう1週間に発表予定の主要経済指標等＞

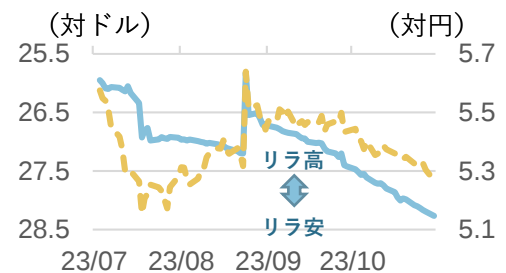
月日	GMT	指標	期間	予想*	実績	前回
10/31	08:00	観光客数(前年比)	10月			5.7%
11/2		四半期インフレレポート				
11/3	07:00	CPI(前年比)	10月	62.5%		61.53%

(*予想はブルームバーグ社予想中心値)

トルコ・リラの推移

実線: 対ドルレート(左軸、逆目盛)

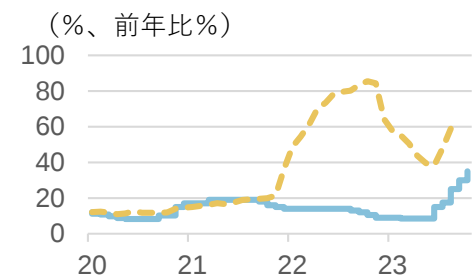
点線: 対円レート(右軸)



トルコ 政策金利とCPI

実線: 1週間物レポレート(主要政策金利)

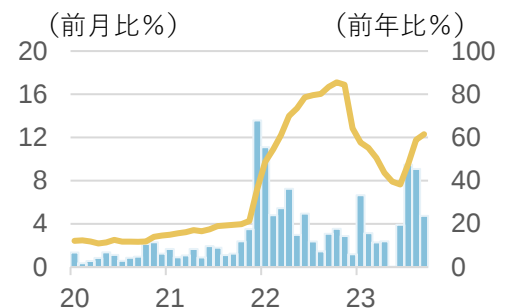
点線: 消費者物価指数(CPI)



トルコ 消費者物価指数(CPI)

棒グラフ: 前月比(左軸)

折れ線: 前年同月比(右軸)



(資料: トルコ統計局、トルコ財務省、ブルームバーグ)

＜文責＞

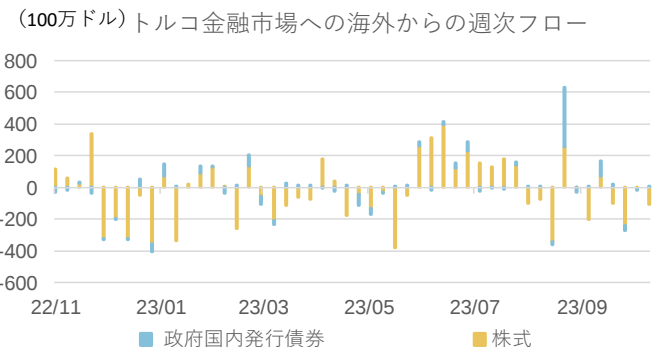
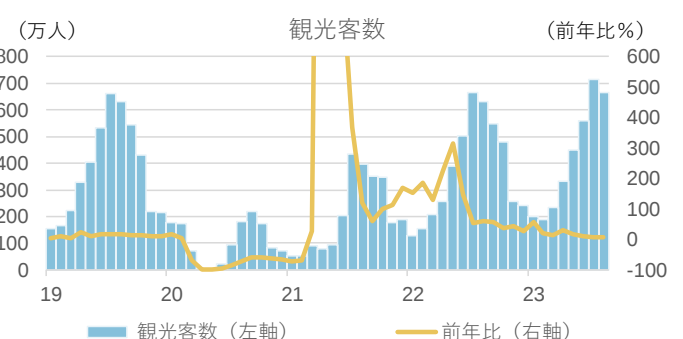
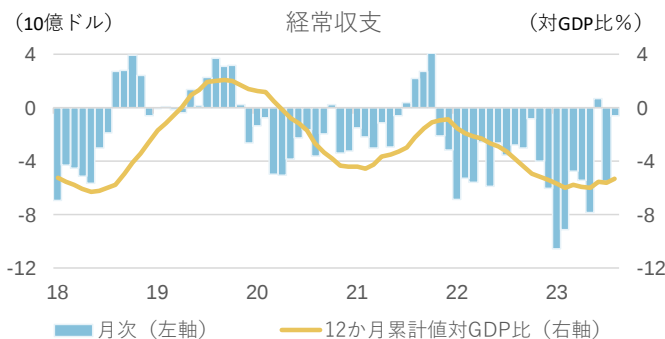
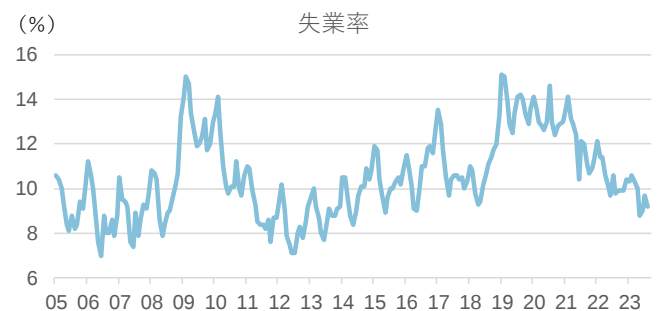
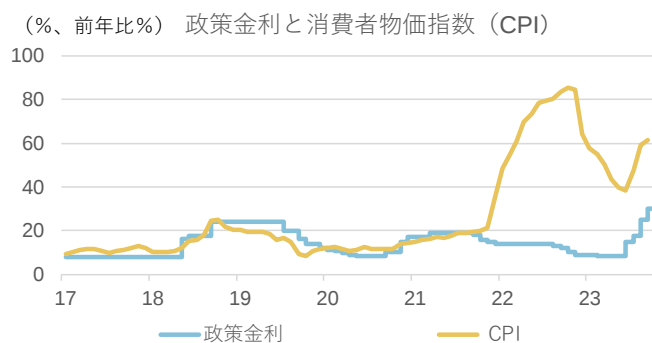
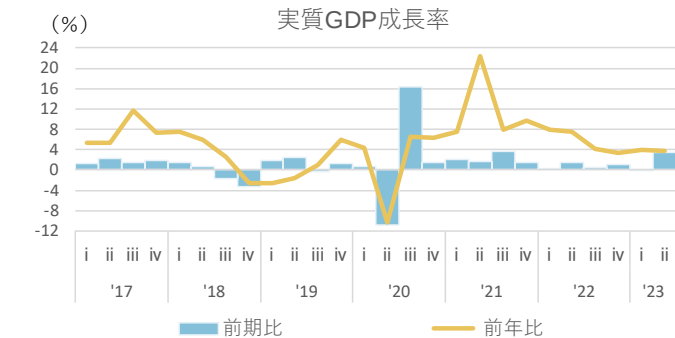
欧州資金部

シニア為替ストラテジスト

中島 将行

masayuki.nakajima@mhcb.co.uk

<主要経済指標の推移>



(資料：トルコ中央銀行/トルコ統計局/ブルームバーグ/みずほ銀行)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。